

薬学生の皆さん、はじめまして！。新学期が始まり1カ月経ちましたが、大学生活はいかがですか？。授業や実習にも慣れ、バイトやサークルなど新しいことを始めようと思っている人も多いのではと思います。今回はそんな皆さんに「薬学生の集い」を知ってもらいたいと思います。

薬学生の集い（以下薬つど）は世界に貢献できる「Pharmacistsの育成」をスローガンに活動する、日本唯一の全国的薬学生組織で

薬つどって何？

す。将来の医療、薬学を担う薬学生の一員として意識を変えていこう、私たちが置かれている現状について考えるキッカケをつかもうという主旨のもと、1998年に大学院生を主体に創設されました。その後数年を経て、03年12月から現在まで、学部生中心で活動しています。加盟校制をとっており、現在、関東を中心に15校の大学が加盟し、個人会員も含め約200人で活動しております。

広げよう!! 薬学生の輪

大学では得られないことがたくさん♪

主な活動としては、5月の新入生歓迎会から始まり、夏にはIPSF（国際薬学生連盟）コンgressや交換留学等の国際交流をはじめ、去年は初の試みである広島シンポジウムを行いました。広島シンポジウムでは平和をテーマに、平和公園散策やディスカッションをはじめ、宮島観光を通して新しい出会い、

新たな考え方の発見など中身の濃い3日間を過ごせました。

10月には日本薬剤師会学術大会に参加、12月には年会が行われます。年会とは薬つどの1年間の活動の集大成として2日間かけて行われる定例シンポジウムで、去年は「Design our future ~あなたは10年後何をしていますか?」をテーマに、病院、調剤薬局、研究など様々な薬学出身者の先輩方を招いて、しゃべり場的座談会や漢方、メイク、服薬指導など

の体験型企画などを行いました。このほかにも、勉強会やコラボイベントなど、やりたいことが実現できる場が薬つどです。

このような活動を通して、単科大学が多い薬学生同士の意見交換や意識向上を目指し、将来、医療を担っていく薬剤師、研究者として活躍できる基盤が作れたらと思っています。



昨年行われた広島シンポジウム

国際活動にも積極的に参加

毎年夏には、IPSFコンgressや交換留学等の、国際的な活動が行われます。

IPSFとはInter National Pharmaceutical Students Federationの略で、現在約60カ国、30万人の薬学生が集まる国際的な薬学生組織です。薬学生の研究や興味を支援し、国際間の協力を奨励することを目的として、49年にロンドンで設立されました。

公衆衛生活動、エイズ認識活動、タバコ警告活動、薬剤師職能向上活動、発展途上国の支援、交換留学プロジェクトなどを行っています。薬つどは03年に正式加盟し、日本の学生の代表として参加しており、今年はバリ島でのコンgressに参加する予定です。

交換留学プログラムはIPSFのメイン活動の1つで、違う国の薬学を知る機会を、世界中の学生に提供するプログラムです。1年中行われていますが、多くは3月から9月の間に行われます。留学期間は1カ月から3カ月で、実習先は調剤薬局、病院薬局、製薬会社、大学の薬学部です。この2つのイベント

に参加して、いろいろな国の薬学生と触れ合いました。そこではもちろん、他の国の薬学部について知ることができました。また、ある国の薬学生が偽薬のプレゼンをしているのを見て、世界の薬学生は自分の国だけでなく、世界の情勢にまで目を向けていることに驚きました。その経験は私にとって今後薬学を学んでいくよい刺激となりました。（東邦大学3年）

学術大会に参加して

私は昨年、「薬学生の集い」を通して10月12、13日に宮崎県で開催された日本薬剤師会の学術大会に参加させていただきました。「薬学生の集い」を通じては、藤井基之先生をはじめ、多くの薬学の分野などで活躍されている先生方のフォーラムでの質疑応答や、「薬学生による『私が目指す薬剤師像』という企画に参加させていただきました。

前者では、幅広い薬学を中心とした医療の展望などについて、直に専門の先生方に伺える機会をいただき、新たな方向性が見えましたし、後者では、同年代の学生の方々の考えていることについて知ることができ、大いに啓発されました。

そのほかにも、講演会やポスター発表、企業ブースなどの見学を通し、知見を広めると共に、薬学に関する新たな見解を持つことができました。何よりも、多くの薬学分野の方々、私たち薬学を志す者の先輩ともいえる方々が参加されたことに大変感銘を受けました。後に聞いたところでは、7000人近い方が参加されていたとのことですが、それだけの方が一堂に会し、薬学について学び、発表するという事に感動しました。世間で



昨年の「薬つど」新入生歓迎会

薬学生の集い加盟校と参加校

○正会員（大学）	[関西]
[北海道]	・大阪薬科大学 (AMG研究会)
・北海道薬科大学(ene)	・京都薬科大学 (Papavera)
[関東]	・摂南大学
・慶應義塾大学 (アセチルコリン)	[中国]
・国際医療福祉大学 (VIOLA)	・広島国際大学 (“Couture”)
・城西大学 (Bel's)	○個人会員
・東京薬科大学 (HARVEST)	・富山大学
・東京理科大学 (ADME)	・金城学院大学等
・東邦大学 (yaqoo)	・高崎健康福祉大学
・帝京平成大学 (Second Opinion)	・昭和大
・星薬科大学(Luce)	○賛助会員
・明治薬科大学 (やくつどM)	会員数：約200人
・武蔵野大学 (ヤクミン)	○個人参加
	・北里大学
	・日本大学
	・日本薬科大学
	・横浜薬科大学など

は薬剤師過剰の時代が来るなどと、明るい話を聞かない今日ですが、活気あふれる会場は頼もしくもあり、まさしく「Yes, We can!」と感じさせるものでした。私自身も薬学への関心が一層高まり、日頃の学習にも生かせることができています。学術大会では普段、学校では得られない貴重な経験をさせていただきました。学術大会は各分野や、未来と現在の薬学を結ぶ架け橋と言えるかもしれません。

本年度は滋賀県で開催されるとのこと。琵琶湖・マザーレイクの水面に投げられた石が描く波紋のように、本年度も学術大会において、薬学に新たな紋様が刻まれることと思います。（大阪薬科大学4年 森川祥彦）

新入生歓迎会の日程が決まりました！

イベントの内容は交流会など盛りだくさん。他大学同士の交流の場、いろんな人と意見共有する場、やりたいことを実行できる場などなど……使い方はあなた次第!!

薬学部に入ったばかりの1年生も薬つどに少しでも興味を持った方、ぜひご参加ください。今まで見えなかった世界が見えるかもしれません！

薬学生の集い第8回新入生歓迎会

日時：5月17日（日）

場所：国立青少年オリンピックセンター

テーマ：You Can Change～やりたいことがここにある 来い！薬学生～
申し込み、お問い合わせは薬学生の集い事務局まで

APSjapan_Sec@hotmail.com

詳しくはHPをチェック

http://yakutsudo.web.fc2.com/

文責：薬学生の集い2009年度副代表

慶應義塾大学薬学部 橋本貴広